

2026春闘勝利に向け全力で奮闘しよう！

新賃金引上げ（ベア21,000円）及び労働条件改善要求（46項目）を申し入れる

生活改善



本部は2月16日、貨物会社に対し「2026年度の賃金引上げに関する申し入れ」（国労闘申第8号）、別途、労働条件改善要求（国労闘申第9号）46項目の申し入れを行った。

貨物会社では「ベア」の実施や賃金改善措置が行われてきたが、その額は要求とは大きく乖離し、社員と家族の生活改善に値するものとはなっていない。僅かばかりの賃上げでは物価高騰が続く今日、社員と家族の生活は厳しさが増すばかりであり、この間の低額回答のベアや期末手当で生活苦は増すばかりである。度重なる自然災害や日々発生する輸送障害で貨物会社経営は減収が続き、その度に社員への責任転嫁が続いているが、長期経営計画における4,000億円を超える膨大な設備投資に変更はないとしている。相次ぐ合理化・効率化で、徹底した社員犠牲の経営が続けられているが、日々奮闘する社員に対し正当な還元を行うことで、物価高騰で苦しい生活を強いられている現状を改善しなければならない。26春闘で大幅賃上げを勝ち取ろう！



急激な物価高騰で日々の生活は苦しさが増すばかり！！

貨物会社に働く社員の生活実態は、毎年国労が実施している「生活実態アンケート調査」に基づけば「毎月の赤字額」が平均31,075円となっており、生要求額は32,632円、となっている。「要求額の根拠」は「生活向上資金」「病気・老後の備え」「赤字の補填」とする回答が大半を占め、「現在の生活程度」については、「不満足」「やや不満足」との回答は49.01%となっており、貨物会社社員の厳しい生活実態が明らかとなっている。26春闘で大幅賃上げを勝ち取り生活改善を何としてでも勝ち取らなくてはならない。



要求獲得に向け全ての職場から闘いに決起しよう！

第1回賃金交渉は 2月20日を予定している